

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

| | | | | |
|-------------|--|---------------------------|----------|-------|
| ■事業の担当課 | 商工部商業観光課 | | ■担当係 | 観光物産係 |
| ■評価事業名称 | 北上展勝地さくらまつり渋滞対策事業 | | | |
| ■評価事業コード | 060200 - 313 | ■会計区分 | 一般会計 | |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり | | |
| | ■基本施策 | 02 活気ある商工業と観光の振興 | | |
| | ■施策 | 04 地域資源を活かした観光の振興 | | |
| ■事業の種類 | 05 ソフト事業(任意) | | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | | |
| ■法令等の名称 | | | | |
| ■関連計画の名称 | | | | |
| ■事業の概要 | 交通渋滞を緩和し、観光客をさくらまつりにスムーズに誘導する。展勝地さくらまつり期間中に発生する交通渋滞を緩和するため、臨時駐車場の設置及びシャトルバスの運行を行う。 | | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成24年度事業計画 | 平成24年度事業量実績 |
|--------|-------------------|-----------|------------|--|
| 01 | 北上展勝地さくらまつり渋滞対策事業 | 観光客及び一般市民 | | <ul style="list-style-type: none"> ・臨時駐車場4か所設置 ・駐車台数3,579台 ・シャトルバス4ルート運行 ・利用者14,821人 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | | | | 4,454 | |
| 人件費 | | | | 787 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | | | | 5,241 | |

4. 評価指標等の状況

| 指標コード | 指標名 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 指標の説明 |
|-------|-----------|------|------|------|--------|--------------------|
| 01 | 臨時駐車場 | | | | 4カ所 | 市役所、旧北上病院、北上駅西口、稲瀬 |
| 02 | シャトルバスの運行 | | | | 4ルート | |
| 03 | 臨時駐車場利用台数 | | | | 3,579台 | |

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

| | | | | | |
|----|------------|--|--|---------|--|
| 04 | シャトルバス利用者数 | | | 14,821人 | |
|----|------------|--|--|---------|--|

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

24年度からの新規事業。渋滞の緩和に効果はあるが、まだ不十分である。

問題点・課題等

天候や開花状況により入込が大きく変わる為、バス等の手配に課題がある。稲瀬の臨時駐車場が土のため雨が降ると使いづらい。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明